

LHC-ATLAS 実験データを用いた VH 生成過程におけるヒッグスボソンの性質の精密測定

Sunday 18 February 2024 16:30 (30 minutes)

新物理発見の根拠をさぐるため、新物理に感度があるベクターボソンから随伴生成されるヒッグスボソンの生成微分断面積とボトムクォークとの結合の強さの測定精度の向上を実現させた。登壇者はその中で、精度向上によく貢献した研究である、ヒッグス崩壊系から放射されるグルーオンの効率的な同定と、重要な背景事象の 1 つであるダイボソン生成過程の系統誤差の見積もり手法の改善を行った。LHC-ATLAS 第 2 期実験データを用いてそれら 2 点の検証をした結果を議論する。

Presenter: 田中碧人 (東京大学)

Session Classification: ATLAS · MEG II · COMET